

## 主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 39

テサロニケ人への第一の手紙において

わたしたちが聖別の中で責められることのないことの要因、またわたしたちが霊、魂、体において完全に聖別されることの要因

聖書：I テサロニケ 3:13. 5:23-24

- I. 召会生活のための聖なる生活をするために、わたしたちは主がわたしたちの心を堅固にし、聖別の中で責められるところのないものにしてくださること（わたしたちの聖別の中で何の過ちも見いだされないこと）を必要とします——I テサロニケ3:13:
- A. 心は、人の内側の各部分の集合体であり、人の総代表であって、人を動かす機関です:
1. わたしたちの心はわたしたちの魂のすべての部分、すなわち思い、感情、意志（マタイ 9:4. ヘブル 4:12. ヨハネ 14:1. 16:22. 使徒 11:23）と、それに加えてわたしたちの霊の一部分、すなわち、良心（ヘブル 10:22. I ヨハネ 3:20）から構成されています。
  2. わたしたちの心と神の御前での心の状態は、神の御前でのわたしたちの霊、魂、体の状態と有機的で、内在的で、分離することのできない関係にあります。
    - a. わたしたちの心が活動しているときはじめて、霊を活用することは役に立ちます。もし人の心が無関心であるなら、霊は内側に閉じ込められており、その能力を発揮することができません——マタイ 5:3, 8. 詩 78:8. エペソ 3:16-17。
    - b. 魂はパースンそのものですが、心は行動におけるパースンです。心はわたしたちの全存在の行動の機関、行動の執行者です。
    - c. わたしたちの肉体の活動と行動は、わたしたちの心臓にかかっています。同様に、わたしたちの日常生活、わたしたちがどのように活動し振る舞うかは、わたしたちがどのような心を持っているかにかかっています。
- B. 心は命の入り口と出口であり、命の「スイッチ」です。もし心が正常でないなら、霊の中の命は妨げを受け、命の法則は自由に障害なしに働くことができず、わたしたちの存在のあらゆる部分に到達することができません。命には大きな力がありますが、この大きな力はわたしたちの小さな心によって制御されます——箴 4:23. マタイ 12:33-37. 参照、エゼキエル 36:26-27。
- C. 神は変わることはない方ですが、わたしたちの生まれながらの心は、わたしたちの人との関係においても主との関係においても、変わりやすいのです——参照、II テモテ 4:10. マタイ 13:3-9, 18-23。
- D. 人の天然の人性の命によれば、心が確固としている人は一人もいません。わたしたちの心はとても容易に変わるので、全く信頼に値しません——エレミヤ 17:9-10. 13:23。
- E. わたしたちの心は責められるのは、それが変わりやすいからです。変わることのない

- い心は、責められるところのない心です。——詩 57:7. 108:1. 112:7。
- F. 神の救いにおいて心が更新されることは一度限りのことです。しかしながら、わたしたちの経験では、わたしたちの心は絶えず更新されます。なぜなら、それは変わりやすいからです——エゼキエル 36:26. II コリント 4:16。
- G. わたしたちの心は変わりやすいので、聖別する霊によって絶えず更新される必要があります。それによってわたしたちの心は聖となる状態の中で、すなわち、神へと分離され、神によって占有され、神によって所有され、神で浸透される状態の中で、確立され、建て上げられることができます——テトス 3:5. ローマ 6:19, 22。
- H. 召会生活のための聖なる生活をするに於いて「聖別されつつある者たち」となるために、わたしたちは「聖別する」方の内なる活動に協力して、心を対処しなければなりません——ヘブル 2:11. 詩 139:23-24 :
1. 神は、わたしたちの心が柔らかいことを願っています——エゼキエル 36:26. マタイ 13:4, 19. II コリント 5:14. 参照、出 32:9. エレミヤ 48:11。
  2. 神は、わたしたちの心が純粋であることを願っています——マタイ 5:8. 詩 73:1, 25. エレミヤ 32:39. 詩 86:11 後半. II テモテ 2:22. I テモテ 1:5。
  3. 神は、わたしたちの心が愛情深い心であることを願っています——詩 42:1-2. 雅 1:1-4. II コリント 3:16. II テサロニケ 3:5. 詩歌 546 番, 詩歌 547 番. エペソ 6:24. ヨハネ 15:9-10. 21:15-17. マタイ 26:6-13. I ヨハネ 2:5。
  4. 神は、わたしたちの心が平安であることを願っています——使徒 24:16. I ヨハネ 3:19-21. ヘブル 10:22. I ヨハネ 1:7, 9. I テモテ 1:5. ピリピ 4:6-7. コロサイ 3:13-15。
- I. わたしたちの心が、聖別する霊の絶え間のない更新によって、堅固にされ、聖別の中で責められるところのないものになりつつあるとき、わたしたちは神聖な命の新しいさを持つ新エルサレムになりつつあり、神聖な性質の聖を持つ聖なる都になりつつあります——啓 21:2. I ヨハネ 5:11-12. II ペテロ 1:4。
- II. 神はキリストの贖う血によって、わたしたちを地位において聖として、彼の法理的な贖いにおいてわたしたちを分離して神へと帰しただけでなく、また彼ご自身の聖なる性質によって、わたしたちを性情において聖別して、彼の有機的な救いにおいてわたしたちにご自身をもって浸透しています——ヘブル 13:12. 10:29. ローマ 6:19, 22. エペソ 5:26. I テサロニケ 5:23-24 :
- A. 神が、わたしたちの霊、魂、体を性情において聖別することは、わたしたちを神聖に「息子化」して、わたしたちを神の子たちとし、わたしたちが神格においてではなく命と性質において神と同じになり、神を表現することができるようにすることです——エペソ 1:4-5. ヘブル 2:10-11。
- B. 神はわたしたちを聖別することによって、わたしたちを霊、魂、体の本質において造り変え、わたしたちを性情において完全に彼のようにします。このようにして、彼はわたしたちの霊、魂、体を徹底的に完全に守ります—— I テサロニケ 5:23 :
1. 量的に、神はわたしたちを徹底的に聖別されます。質的に、神はわたしたちを守って、完全にしてください。すなわち、彼はわたしたちの霊、魂、体を守って完ぺきにしてください。

2. 神はわたしたちを守ってくださいますが、わたしたちは責任を取り、率先して、彼の活動と協力し、わたしたちの霊、魂、体を聖霊の浸透の中に保つことによって、守られる必要があります—— 12-24 節。
- C. 神と協力してわたしたちの霊を聖別の中に保つために、わたしたちは霊を活用することによって、霊を生ける状態に保たなければなりません：
1. わたしたちの霊を守るために、わたしたちは霊を活用して神と交わりを持つことによって、わたしたちの霊を保って生き生きとさせなければなりません。わたしたちがこのように霊を活用することをしないなら、霊を死んだ状態のままにしておくこととなります：
    - a. 喜び、祈り、感謝をささげることは、わたしたちの霊を活用することです。わたしたちの霊を守ることは、まず初めにわたしたちの霊を活用して、わたしたちの霊を保って生き生きとさせ、霊を死から引き抜くことです—— 16-18 節。
    - b. わたしたちは聖別する神と協力して、霊を殺す状況から分離される必要があります——参照、民 6:6-8. II コリント 5:4。
    - c. わたしたちは霊の中で、また霊をもって神を礼拝し、神に仕え、神と交わりをしなければなりません。わたしたちであるすべて、わたしたちが持っているすべて、わたしたちが行なうすべては、わたしたちの霊の中になければなりません——ヨハネ 4:24. ローマ 1:9. ピリピ 2:1。
  2. わたしたちの霊を守るために、わたしたちはそれをすべての汚れと汚染から保つ必要があります—— II コリント 7:1。
  3. わたしたちの霊を守るために、わたしたちは神と人に対して、とがめのない良心を持つようと、自分自身を訓練しなければなりません——使徒 24:16. ローマ 9:1. 参照、8:16。
  4. わたしたちの霊を守るために、わたしたちは霊に注意し、思いを霊に付けて、霊の中の安息を顧みなければなりません——マラキ 2:15-16. ローマ 8:6. II コリント 2:13。
- D. 神を協力してわたしたちの魂を聖別の中に保つために、わたしたちは心の三つの主要な「動脈」、すなわちわたしたちの魂の各部分（思い、感情、意志）をきれいにしなければなりません——ピリピ 2:2, 5. 1:8. 2:13：
1. わたしたちの魂が聖別されるために、わたしたちの思いは更新されてキリストの思いとならなければならず（ローマ 12:2）、わたしたちの感情はキリストの愛をもって触れられ、浸透されなければならず（エペソ 3:17, 19）、わたしたちの意志は復活したキリストによって征服され、注入されなければならず（ピリピ 2:13. 参照、雅歌 4:4 前半. 7:4 前半）、わたしたちは全存在をもって主を愛さなければなりません（マルコ 12:30）。
  2. わたしたちの心の三つの主要な動脈の詰まりを取り除く方法は、主に対して徹底的な告白をすることです。わたしたちは主と共にしばらくの間とどまり、彼に求めて自分を完全に光の中へともたらしてもらい、彼が暴露することの光の中で、わたしたちは自分の欠点、失敗、敗北、間違い、悪い行ない、罪を告白する必要があります—— I ヨハネ 1:5-9：

- a. わたしたちの思いの動脈の詰まりを取り除くために、わたしたちは自分の思想と考え方の中にある罪深いすべてのことを告白する必要があります。
  - b. わたしたちの感情の動脈の詰まりを取り除くために、わたしたちは自分の喜びと悲しみを表現してきた天然的で肉的でさえある方法を告白し、また多くの時、わたしたちが愛すべきことを憎み、憎むべきことを愛していることを告白する必要があります。
  - c. わたしたちの意志の動脈の詰まりを取り除くために、わたしたちは自分の意志の中にある反逆の病原菌を告白する必要があります。
  - d. わたしたちが必要な時間を取って、わたしたちの心の三つの主要な動脈の詰まりを取り除くなら、わたしたちは自分の全存在が生き生きとなって、非常に健康な状態にあるという感覚を持つでしょう。
- E. 神と協力してわたしたちの体を聖別の中に保つために、わたしたちは自分の体を彼にささげなければなりません。それは、わたしたちが召会生活のための聖なる生活をし、からだの生活を実行して、神の完全なみこころを遂行するためです——ローマ 12:1-2. I テサロニケ 4:4. 5:18 :
- 1. わたしたちの墮落した体、すなわち肉は、サタン、罪、死の「集会所」ですが、キリストの贖いによって、また父、子、霊の「集会所」であるわたしたちの再生された霊の中で、わたしたちの体はキリストの肢体であり、聖霊の宮です——ローマ 6:6, 12, 14. 7:11, 24. I コリント 6:15, 19。
  - 2. わたしたちの体を守ることは、わたしたちの体において神の栄光を現すことです—— 20 節。
  - 3. わたしたちの体を守ることは、わたしたちの体においてキリストを大きく表現することです——ピリピ 1:20。
  - 4. わたしたちの体を守るために、わたしたちは自分の魂、すなわち古い人にしがたって生きていけません。そうすれば、罪の体は解雇され、失業します——ローマ 6:6。
  - 5. わたしたちの体を守るために、わたしたちは自分の体をどんな罪深いものにもささげてはならず、むしろ自分自身を奴隷として義にささげ、自分の肢体を義の武器としてささげなければなりません—— 13, 18-19, 22 節. ダニエル 5:23 :
    - a. 「あなたがたの聖別、これこそ神のみこころです。すなわち、あなたがたが淫行を断ち、めいめい、自分の器をどのように聖別と誉れの中に保つべきかを知って」—— I テサロニケ 4:3-4。
    - b. 神を知らないことは、人々が情欲の激情に陥る基本的な原因です—— 5 節。
  - 6. わたしたちの体を守るために、わたしたちはそれを打ちたたき、それを奴隷として導いて、わたしたちの聖なる目的を成就し、聖なる都とならなければなりません—— I コリント 9:27. 啓 21:2。